



# 平成30年3月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

平成29年11月2日

上場会社名 高千穂交易株式会社  
 コード番号 2676 URL <http://www.takachiho-kk.co.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 戸田 秀雄  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員 管理本部長 (氏名) 植松 昌澄  
 四半期報告書提出予定日 平成29年11月9日 配当支払開始予定日 平成29年12月5日  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 有

上場取引所 東

TEL 03-3355-1111

(百万円未満切捨て)

## 1. 平成30年3月期第2四半期の連結業績(平成29年4月1日～平成29年9月30日)

### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第2四半期	9,415	7.2	211	66.7	252	29.0	123	60.2
29年3月期第2四半期	8,780	15.6	126	47.6	196	10.8	77	

(注) 包括利益 30年3月期第2四半期 328百万円 ( %) 29年3月期第2四半期 227百万円 ( %)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第2四半期	13.23	13.22
29年3月期第2四半期	8.10	

### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
30年3月期第2四半期	18,485	14,051	76.0	1,503.80
29年3月期	18,561	13,834	74.5	1,480.61

(参考) 自己資本 30年3月期第2四半期 14,042百万円 29年3月期 13,825百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期		12.00		12.00	24.00
30年3月期		12.00			
30年3月期(予想)				12.00	24.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 平成30年3月期の連結業績予想(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	21,000	10.3	1,000	99.8	1,000	42.8	650	132.4	69.61

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

## 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- |                    |     |
|--------------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| 以外の会計方針の変更         | : 無 |
| 会計上の見積りの変更         | : 無 |
| 修正再表示              | : 無 |

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	30年3月期2Q	10,171,800 株	29年3月期	10,171,800 株
期末自己株式数	30年3月期2Q	833,957 株	29年3月期	833,957 株
期中平均株式数(四半期累計)	30年3月期2Q	9,337,843 株	29年3月期2Q	9,524,970 株

四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

(決算補足説明資料の入手方法)

当社は、平成29年11月21日(火)に機関投資家、アナリスト向け説明会を開催する予定です。この説明会で配布する決算説明資料については、開催後速やかに当社ホームページに掲載する予定です。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報等)	7
3. 補足情報	8
販売実績	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、輸出が増加基調にあるほか、設備投資が改善するなかで回復基調が続いており、個人消費につきましても、雇用・所得環境の着実な改善を背景に緩やかに持ち直しております。

先行きについては、雇用・所得環境改善の傾向が続くなかで、各種経済対策の効果などにより、緩やかに回復していくことが期待されているものの、地政学的リスクや英国のEU離脱問題、米国の経済政策運営など、海外情勢について留意する必要があります。

当社グループの市場環境は引き続き競争激化の状況にあります。新たな成長を見据え独自の付加価値強化による収益性の向上及びアジアを中心とした成長市場への進出によりグローバルビジネスの拡大を図っております。

具体的には、システムセグメントでは、主要商品である商品監視システムや入退室管理システムの付加価値強化、RFIDシステム、リテールソリューション、クラウド型無線LAN等の新たな市場開拓、またタイ及びASEAN諸国において展開する高度防火システム事業の拡大を図っております。

他方、デバイスセグメントでは、電子事業においては主に通信インフラ分野での拡販や各種半導体を使用した独自の基板設計などの付加価値強化、また産機事業では従来のATM向け機構部品に加え、北米、ASEAN諸国、中国への住宅設備向け機構部品の販売、国内外における自動車内装部品市場の開拓などに注力しております。

このような状況の中、当第2四半期連結累計期間の経営成績は、デバイスセグメントが苦戦した一方で、システムセグメントが堅調に推移したことなどから、売上高は前年同期比7.2%増の94億15百万円となりました。

損益につきましては、販売費及び一般管理費が92百万円減少したことなどにより、営業利益は前年同期比66.7%増の2億11百万円となりました。経常利益は前年同期比29.0%増の2億52百万円となりました。親会社株主に帰属する四半期純利益は、前年同期比60.2%増の1億23百万円となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

## (システムセグメント)

システムセグメントの売上高は、前年同期比17.5%増の58億93百万円、営業利益は、前年同期と比べて2億21百万円増加し、2億26百万円となりました。

セキュリティ商品類では、商品監視システムの更新需要を捉え販売増加につなげたことや大手携帯キャリア向けディスプレイセキュリティシステム及び外資系企業向け入退室管理システムの販売が好調に推移したこと、タイにおける防火システムの販売が前年同期に比べ伸張したことなどから、売上高は前年同期比22.2%増の38億6百万円となりました。

その他ソリューション商品類は、クラウド型無線LANやRFIDタグの販売が堅調に推移したことなどから、売上高は前年同期比12.7%増の7億34百万円となりました。

カスタマ・サービス商品類は、セキュリティ商品類及びその他ソリューション商品類の販売増に伴い設置料収入や保守収入が増加したことなどから、売上高は前年同期比8.5%増の13億51百万円となりました。

## (デバイスセグメント)

デバイスセグメントの売上高は、前年同期比6.5%減の35億21百万円、営業利益は前年同期と比べ1億40百万円減少し17百万円の損失となりました。

電子商品類では、遊技市場、スマートフォン、デジカメ向けの販売が苦戦した一方で、半導体製造装置やIPPBX（構内交換機）向け電子部品の販売が堅調に推移したことなどにより、売上高は前年同期比3.8%増の15億81百万円となりました。

産機商品類では、オフィス家具や住宅設備向けの販売が底堅く推移した一方で、ATMや遊技市場向けの販売が苦戦したことなどから、売上高は前年同期比13.4%減の19億40百万円となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末と比べ75百万円減少し、184億85百万円となりました。これは投資有価証券が4億2百万円、現金及び預金が1億67百万円増加した一方で、譲渡性預金の解約により有価証券が5億円減少したことなどによるものです。

他方、負債は、前連結会計年度末と比べ2億92百万円減少し、44億33百万円となりました。これは支払手形及び買掛金が2億6百万円、未払法人税等が61百万円減少したことなどによるものです。

純資産は前連結会計年度末と比べ2億17百万円増加し、140億51百万円となりました。これは親会社株主に帰属する四半期純利益1億23百万円に加えて有価証券評価差額金が1億22百万円増加したことなどによるものです。自己資本比率は前連結会計年度末から1.5ポイント上昇し、76.0%となりました。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想については、平成29年5月10日の「平成29年3月期 決算短信」で公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	6,163	6,331
受取手形及び売掛金	5,989	5,954
有価証券	500	—
商品及び製品	2,330	2,370
原材料	80	87
その他	642	619
貸倒引当金	△7	△17
流動資産合計	15,699	15,347
固定資産		
有形固定資産	304	304
無形固定資産		
のれん	1,058	1,002
その他	88	79
無形固定資産合計	1,147	1,081
投資その他の資産		
投資有価証券	835	1,238
その他	574	514
貸倒引当金	△0	△1
投資その他の資産合計	1,409	1,751
固定資産合計	2,861	3,137
資産合計	18,561	18,485

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,749	2,543
未払法人税等	193	132
賞与引当金	245	238
役員賞与引当金	11	12
その他	834	803
流動負債合計	4,034	3,729
固定負債		
退職給付に係る負債	631	643
その他	60	61
固定負債合計	691	704
負債合計	4,726	4,433
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,209	1,209
資本剰余金	1,170	1,170
利益剰余金	12,237	12,249
自己株式	△783	△783
株主資本合計	13,833	13,844
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	219	341
為替換算調整勘定	△210	△129
退職給付に係る調整累計額	△16	△14
その他の包括利益累計額合計	△7	197
新株予約権	8	9
非支配株主持分	0	0
純資産合計	13,834	14,051
負債純資産合計	18,561	18,485

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)
売上高	8,780	9,415
売上原価	6,474	7,118
売上総利益	2,305	2,297
販売費及び一般管理費	2,178	2,085
営業利益	126	211
営業外収益		
受取利息	0	0
受取配当金	8	8
為替差益	31	22
受取保険金	2	0
持分法による投資利益	0	0
債務勘定整理益	25	—
その他	3	10
営業外収益合計	71	43
営業外費用		
支払利息	1	0
その他	1	1
営業外費用合計	2	1
経常利益	196	252
特別利益		
投資有価証券売却益	0	—
新株予約権戻入益	11	—
特別利益合計	11	—
特別損失		
固定資産除却損	—	1
特別損失合計	—	1
税金等調整前四半期純利益	207	251
法人税、住民税及び事業税	129	122
法人税等調整額	0	5
法人税等合計	130	128
四半期純利益	77	123
親会社株主に帰属する四半期純利益	77	123

(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成29年4月1日 至 平成29年9月30日)
四半期純利益	77	123
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△0	122
為替換算調整勘定	△307	81
退職給付に係る調整額	3	1
その他の包括利益合計	△304	205
四半期包括利益	△227	328
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△227	328



## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項に変更はありません。

(セグメント情報等)

セグメント情報

I 前第2四半期連結累計期間(自平成28年4月1日至平成28年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	システム	デバイス	合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
売上高					
外部顧客への売上高	5,014	3,765	8,780	—	8,780
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	5,014	3,765	8,780	—	8,780
セグメント利益	5	123	129	△2	126

(注) 1. セグメント利益の調整額△2百万円は、連結調整額であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成29年4月1日至平成29年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	システム	デバイス	合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
売上高					
外部顧客への売上高	5,893	3,521	9,415	—	9,415
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	5,893	3,521	9,415	—	9,415
セグメント利益又は損失(△)	226	△17	209	2	211

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額2百万円は、連結調整額であります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 3. 補足情報

## 販売実績

(単位：百万円)

区分	前四半期 (平成29年3月期 第2四半期)	当四半期 (平成30年3月期 第2四半期)
セキュリティ商品類	3,116	3,806
その他ソリューション商品類	652	734
カスタマ・サービス商品類	1,245	1,351
システム 計	5,014	5,893
電子商品類	1,524	1,581
産機商品類	2,240	1,940
デバイス 計	3,765	3,521
計	8,780	9,415